

発行所 兵庫中央岳風会
発行者 立 脇 岳 堯
編集 広 報 部

岳風兵庫 かわらばん

東日本大震災の義援金についてのご報告とお礼

このたびの「東日本大震災」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復旧復興されますよう心からお祈り申し上げます。

当会では、3月20日の指導者講習日に義援金募金の「お願いチラシ」を配布し、以後の指導者講習日(3月20日・4月24日・5月22日) 4月17日の当会研修会に募金箱を設置し、集まった義援金 ¥266,969-を被災された認可団体の支援に役立てて頂くよう、宮城岳風会経由にて送金いたしました。

又、4月19日に近隣の認可団体にも呼び掛け、総額 ¥800,000-の義援金が寄せられました。これを被災された認可団体の支援に役立てて頂くよう、宮城岳風会経由にて送金致しました。ここに、ご報告申し上げますとともに、ご協力を頂きました皆様に、お礼申し上げます。

以下の資料は東日本大震災の被災者に対する支援活動について総本部よりの問い合わせに対する回答書です。

提出日：平成 23 年 6 月 20 日
社団法人 日本詩吟学院岳風会
理事長 木部 岳 圭 殿
東日本大震災の被災者に対する支援活動の報告について (回答)

認可団体名	兵庫中央岳風会	認可団体長名	立 脇 岳 堯
支援先団体名 ※1	東北地方の被災された岳風会認可団体		
支援をした団体名 ※2	兵庫中央岳風会ほか5認可団体		
実施日	平成 23 年 4 月 19 日		
支援内容 ※3	近隣の認可団体に呼び掛け 80 万円の義援金を宮城岳風会経由にて送金 80 万円の内訳 兵庫中央岳風会 35 万円 兵庫東播岳風会 10 万円 兵庫県岳風会 5 万円 新神戸岳風会 10 万円 兵庫岳風会 10 万円 岳 玲 会 10 万円		

支援先団体名 ※1	東日本大震災で被災された方々へ		
支援をした団体名 ※2	兵庫中央岳風会		
実施日	平成 23 年 3 月 20 日より		
支援内容 ※3	被災地を激励する意味で、指導者講習日(原則月1回)や、各教場での講習日(原則週1回)の冒頭に、山本有三作の「心に太陽をもて」を皆で合吟しております。(当面本年9月末日まで実施の予定)		

※1・・・支援先団体名(例:日本赤十字社等)
※2・・・支援をした団体名(例:認可団体名等)
※3・・・義援金の場合は、金額が分かるもの(例:受領証等)の写しを添付願います。無ければ結構です。

提出日：平成 23 年 6 月 20 日
社団法人 日本詩吟学院岳風会
理事長 木部 岳 圭 殿
東日本大震災の被災者に対する支援活動の報告について (回答)

認可団体名	兵庫中央岳風会	認可団体長名	立 脇 岳 堯
支援先団体名 ※1	東北地方の被災された岳風会認可団体		
支援をした団体名 ※2	兵庫中央岳風会		
実施日	平成 23 年 5 月 24 日		
支援内容 ※3	3月20日の指導者講習日に義援金募金の「お願いチラシ」を配布し、以後の指導者講習日(3月20日・4月24日・5月22日)、4月17日の当会研修会に募金箱を設置し、集まった義援金 ¥266,969 を宮城岳風会経由にて送金した。		

支援先団体名 ※1	東日本大震災で被災された方々へ		
支援をした団体名 ※2	兵庫中央岳風会		
実施日	平成 23 年 3 月 20 日より		
支援内容 ※3	被災地を激励する意味で、指導者講習日(原則月1回)や、各教場での講習日(原則週1回)の冒頭に、山本有三作の「心に太陽をもて」を皆で合吟しております。(当面本年9月末日まで実施の予定)		

※1・・・支援先団体名(例:日本赤十字社等)
※2・・・支援をした団体名(例:認可団体名等)
※3・・・義援金の場合は、金額が分かるもの(例:受領証等)の写しを添付願います。無ければ結構です。



謹啓
御 礼

万葉の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度の、東日本大震災にあたり宮城岳風会を通し多額の義援金を頂戴致しまして心から厚く御礼申し上げます。

さて、三月十一日の東日本大震災から三ヶ月を過ぎましたが岩手県内で現在死者、行方不明者合わせて七千三百四十九名となっております。

当岩手吟詠会会員は津波災害で逝去された会員が五名、家屋流失・家屋全壊・家屋半壊・床上浸水等被災された会員が八十六名、そのことにより教本流失七十五名となっております。

このような状況下で当会の被災会員支援策として年会費、教本流失会員へ教本進呈、お見舞い、逝去された方へのお悔み、被災教場へのお見舞等に取組んでおります。

この支援策に、貴会からの義援金を活用させて頂き、一日も早い復興に心がけ努力致しますので貴会会員の皆様にも先生からお任せ下さるようお願い申し上げます。敬具

平成二十三年六月十三日
社団法人 日本詩吟学院岳風会認可
岩手吟詠会
会長 三澤 岳 欣
兵庫中央岳風会
会長 立脇 岳 堯 様

平成 23 年 7 月 7 日
兵庫中央岳風会会長 立 脇 岳 堯 様

陸中岳風会会長 佐 藤 岳 伸

盛夏の候 貴台ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素は何かと指導ご支援を賜り感謝申し上げます。
さて、この度は当会の東日本大震災被災会員に対しまして、心温まる義援金を戴き誠に有難うございました。
宮城岳風会及び岩手吟詠会を通じて6月上旬に兵庫県連盟(5認可団体)様からの義援金を受領いたしました。
当会会員の被災状況としては、死亡1名、家屋流失や全壊が7名、同居家族の死亡2名でした。被災会員は避難所や仮設住宅、更には県内外に住んでいる親族の家に身を寄せて生活している状況が続いております。
送って戴きました義援金は、貴会会員の皆様のお気持ちも添えて被災会員(ご家族)に配分いたしましたことをご報告いたします。
被災地が震災前の活気と元気を取り戻すには相当の時間がかかると思いますが、東北人の粘り強い特質を発揮して一日も早く復興を遂げ、平穏無事の日常が戻ってくることを心から願っております。
最後に、会長先生はじめ、会員皆様のご健勝と兵庫中央岳風会の益々のご隆盛を祈念し御礼のことばといたします。 ありがとうございます。

追伸 6月6日付け、岩手吟詠会を通じて35,000円受領いたしました。
義援金受領の報告が遅れ申し訳ありません。

謹啓

向書の候兵庫中央岳風会様には益々ご清栄にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、去る3月11日に発生しました東日本大震災により、東北地方は甚大な被害を受けました。中でも福島県は、地震・津波に加え原子力発電の破壊と放射線被害、さらに風評まで世界的となる災害となりました。地域の人々は避難を余儀なくされしばらく戻ることが出来ず、私どもの多くの吟友も苦難の日々が続いている状況にあります。

このような中で、このたび多大な義援金を頂戴いたしましたご様の励ましと温かい心に会員一同心から感激しております。本当にありがとうございます。

これからは、この震災を機に新しい福島を興すという県民の願い、さらには福島岳風会の建て直しの実現のため全会員が一丸となって努めて参る所存でございます。

どうぞ 今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。御礼のあいさつといたします。

謹白

平成 23 年 6 月
兵庫中央岳風会
会長 立 脇 岳 堯 様
福島岳風会
会長 佐々木 岳 洋

第35回全国吟詠コンクール 近畿決勝大会 ルポ



平成二十三年七月三十一日(日)、高槻現代劇場に於いて掲題のコンクールが開催された。例年の通り、一般一部と一般三部が第一会場の大ホールで、幼年の部・少年の部と青年の部が第二会場の二階展示場で、一般二部が第三会場の三階会議室でと、三会場同時進行で午前九時三十分に関会され、午後六時過ぎまで熱のこもった競吟が繰り広げられた。

第一会場に着いた時には数人の出場者が吟を終えていて、会場内は既に観衆の熱気に溢れていた。

一般一部の出場者は、吟者として最も脂が乗り切る“三十五才~五十四才”で、声には艶が有ってこれから益々磨きがかかろうという年令の先生方であった。“七十才以上”の一般三部も、流石に予選を勝ち抜いて出て来られた先生方で、まだまだ年を感じさせない張りの有る声に加えて、その技量は観衆を魅了していた。

今年度当日は、コンクール終了頃に一時激しい雨に見舞われたが、ほぼ終日三十度を超える真夏日で、昼食時の外出には日傘など日除け無しには歩けない程の暑さだった。

なお例年であれば、この近畿決勝大会の各部上位五名が、東京で開催される全国大会への出場資格を得るのであるが、今年は東日本大震災の為、全国大会は取り止めになっている。

兵庫中央岳風会の入賞者(出吟順)

- 一般一部 久田雅美さん、横山寿恵さん、菅美恵子先生
- 一般三部 五十田睦子先生、奥涼子先生



奥涼子先生 一般三部 五十田睦子先生



一般一部 菅美恵子先生 横山寿恵さん 久田雅美さん

23年度 ふれあいの祭典 ルポ

前夜の激しい風雨とは打って変わって、清々しい秋晴れの十月十六日(日)、「ふれあいの祭典」が、尼崎市総合文化センター・アルカイックホールに於いて開催された。

「ふれあいの祭典」では、例年一組二十名による合吟競吟と県連歴代吟士権者並びに決選出場者による構成吟が行われている。岳風会からは兵庫



女子出場二十組中準優勝(二位)に輝いた

県連合会として、今年は男子が四本組と三本組の二組が、女子が兵庫中央岳風会と姉妹会派との混成組と兵庫東播岳風会単独組の二組が出場した。男子の三本組出場は五・六年振りである。

祭典は例によって「国旗礼拝、国歌斉唱」「連盟歌合吟」で幕を開け、兵庫県知事・尼崎市市長(各々代理)と山岡哲山会長の挨拶に続いて、吟功章受賞者の表彰式が有った後、合吟競吟が始まった。

男子の出場は十二組で、岳風会三本組は三番目、四本組は六番目の出吟であった。三本組は残念ながら予選で敗退したが、その差は紙一重で岳風会の名を決して辱めてはいなかった様に思われる。四本組の方は堂々の五位に入賞した。昨年は二位であっただけに吟者にとっては少々心残りであったと思われるが、練習が五回しか出来なかったにしては大したものだ。



決勝男子堂々の五位に入賞

女子の成績は混成チームが出場二十組中、準優勝に輝いた。立派立派。表彰式壇上での代表三人の顔は晴れ晴れとして、会場からの拍手は暫し鳴り止まなかった。一方、東播組は一寸したトラブルがあり予選敗退となったが、競吟運営にやや疑問が残った。

競吟合吟の後、いくつかの吟詠と剣詩舞の発表に続いて、“源平の戦”の逸話を採り入れた構成吟「宝剣流転」が披露された。流石に吟士権者や決選出場者が吟者で、聴く者の心を虜にする素晴らしい構成吟であった。当会からは濱崎加風先生、久田美山さんのお二人が出吟された。

構成吟の余韻醒めやらぬ内に、役員吟詠、万歳三唱で本年の祭典は終了。後は、いつもの様に、居酒屋へ集合。祝勝会と反省会を兼ねた懇親会は大いに盛りがった。

総本部からの顕彰

以下の先生方に7月1日付けで
総本部より冠稱が贈られました
おめでとうございます



宗帥 岩野岳照先生



宗匠 小島岳翔先生



宗佑 有友岳志先生



宗佑 藤井岳韶先生



宗佑 坂本岳迅先生